

地震工学委員会

平成 24 年度 第 5 回（通算第 151 回）運営幹事会議事録

●日時：平成 24 年 11 月 12 日（月） 16:00～17:30

●場所：土木学会 E 会議室

●出席者：

小長井委員長、清野副委員長、藤原幹事長、秋山幹事、片岡幹事、高橋幹事、濱野幹事、吉見幹事、尾崎氏

●配布資料

幹 151-01	平成 24 年度第 4 回運営幹事会 議事録案
幹 151-02	「小委員会設立、小委員会活動報告・継続の確認」について
幹 151-03	平成 24 年度 第 3 回研究会について
幹 151-04	小委員会活動補助費 見直し依頼・追加申請募集について
幹 151-05	英文論文集（招待論文）への対応について
幹 151-06	国際貢献賞・国際活動奨励賞 候補者推薦について
幹 151-07	国際センターからの依頼に関する対応について
幹 151-08	平成 24 年度地震工学委員会運営幹事会 役割分担
幹 151-09	平成 24 年度運営幹事会年間計画
幹 151-10	次期委員長候補者選挙 被選挙人名簿、案内文、不在者投票用紙
幹 151-11	土木学会各賞の候補推薦に関わる内規（改正提案）
幹 151-12	第 32 回土木学会地震工学研究発表会開催報告
番号なし	地震工学委員会幹事等実績表

●議事

1. 前回議事録確認

藤原幹事長から資料「幹 151-01」に沿って議事録の説明があり、以下の点を確認した上で承認された。

- ・ 総会の議長は小長井委員長にご推薦いただく。

2. 報告・審議事項

（1）次期委員長候補者選挙について

高橋幹事から資料「幹 151-10」に沿って被選挙人名簿、案内文、不在者投票等の説明がなされた。

- ・ 審議の結果、今回から不在者投票はメールで行うこととなった。今後、候補者の推薦についてもメールで行うことを議論していくことが確認された。
- ・ 総会終了後に不在者投票のメールを添付ファイルとともに削除する旨を案内文に記入すること、また運営幹事会はこのプロセスに関与せず事務局で行うことが確認された。

(2) 土木学会各賞の候補推薦に関わる内規の改正提案について

高橋幹事より資料「幹 151-11」に沿って内規の改正提案について説明がなされた。

- ・ 推薦選考委員会の招集時期が若干前後しても良いように、現行の「推薦受付締切の約1ヶ月以上前に」から「以上」を削除する。
- ・ 推薦選考委員会が年に何度か招集されるようになるため、現行の各小委員会委員長は構成から削除し、必要に応じて適任者を追加できるように改める。
- ・ 高橋幹事が上記の修正を行った案を作成し、メール審議することが確認された。

(3) 地震工学研究発表会開催報告

吉見幹事より資料「幹 151-12」に沿って地震工学研究発表会の開催報告がなされた。

- ・ 参加者は約220名であった。正確な人数を事務局が調べる。
- ・ 小委員会報告は非常に良い試みであった。しかし8委員会でも4時間が限度と考えられるため、次回は小委員会の選抜やセッションを分ける、あるいはパラレルにする等の工夫が必要と考えられる。
- ・ 現在、査読論文としての投稿を受け付けているところである。校正等のアルバイト代を確保するため、掲載料を前回よりも2,000円アップすることとなった。

(4) 「小委員会設立、小委員会活動報告・継続の確認」について

藤原幹事長より資料「幹 151-02」に沿って、清田幹事から送信されたメールのとおり、各小委員会等に依頼が行われているとの説明がなされた。

(5) 平成24年度 第3回研究会について

濱野幹事より資料「幹 151-03」に沿って、研究会の予定と案内文案について説明がなされた。

- ・ 研究会での講演は1名（JR東日本 大庭氏）とし、講演を13:15～14:15でお願いして総会を14:30に開始することが確認された。

(6) 小委員会活動補助費追加希望について

片岡幹事より資料「幹 151-04」に沿って活動補助費の見直し依頼・追加申請について説明がなされ、今後の予定等について確認した。

- ・ 11/19 配信→12/3 締切→12/10 総会終了後審議→通知、の予定が確認された。
- ・ 来年度以降も同程度の予算額とすれば、活用しきれず返還しなければならないことが予想される。災害調査等のための基金設立や委員旅費を再度認めるなどの対処が必要。
- ・ 基金設立の可否については、事務局が再度確認する。
- ・ 委員旅費を上限付きで再度認める案については総会の議題に挙げることとし、藤原幹事長が文案を作成する。

(7) 英文論文集（招待論文）への対応について

藤原幹事長より資料「幹 151-05」に沿って英文論文集への対応について説明がなされ、今後の予定等について確認した。

- ・ 地震工学委員会は推薦するだけであり、掲載を約束するものではない。
- ・ 執筆希望は事務局に提出、集約いただく。
- ・ 論文提出の締切を確認し、速やかに委員に配信、12月上旬に集約し一覧を作成、総会後の運営幹事会で一覧をもとに不足分野への調整を行うことが確認された。
- ・ 論文集編集委員会からの依頼文を事務局から藤原幹事長に送付する。

(8) 国際貢献賞・国際活動奨励賞 候補者推薦について

藤原幹事長より資料「幹 150-06」に沿って説明がなされ、総会後の運営幹事会で今後の予定について確認した。

- ・ 11月末を締切として候補者を推薦いただくメールを委員に配信し、推薦があれば総会後の運営幹事会で審議することが確認された。
- ・ 国際貢献賞選考委員会からの依頼文を事務局から藤原幹事長に送付する。

(9) 国際センターからの依頼に関する対応について

藤原幹事長より資料「幹 151-07」に沿って説明がなされた。

- ・ 小長井委員長より、Disaster Fact Sheet の紹介を国際化小委員会の小池委員長に依頼いただく。
- ・ 英文化の負担については事務局に確認いただく。

(10) 運営幹事会 役割分担について

藤原幹事長より資料「幹 150-08」に沿って説明がなされ、幹事の交代について確認した。

- ・ 任期が終了する6名の幹事のうち、3名については後任の候補が挙げられている。残りの3名については、まずは地震被害調査小委員会、原子力土木委員会、コンサルタント関係から推薦いただくことが確認された。

(11) 年間スケジュールについて

藤原幹事長より資料「幹 150-09」に沿って説明がなされ、今後の予定について確認した。

- ・ 12/6には資料を整理してPDFとして配信する必要があるため、藤原幹事長より各幹事に資料準備の依頼が行くことになるのでご対応をお願いしたい。

(12) その他

次回運営委員会

12月10日（月）総会終了後

以上（記録：片岡）